てくてくまっぷ 大阪－14

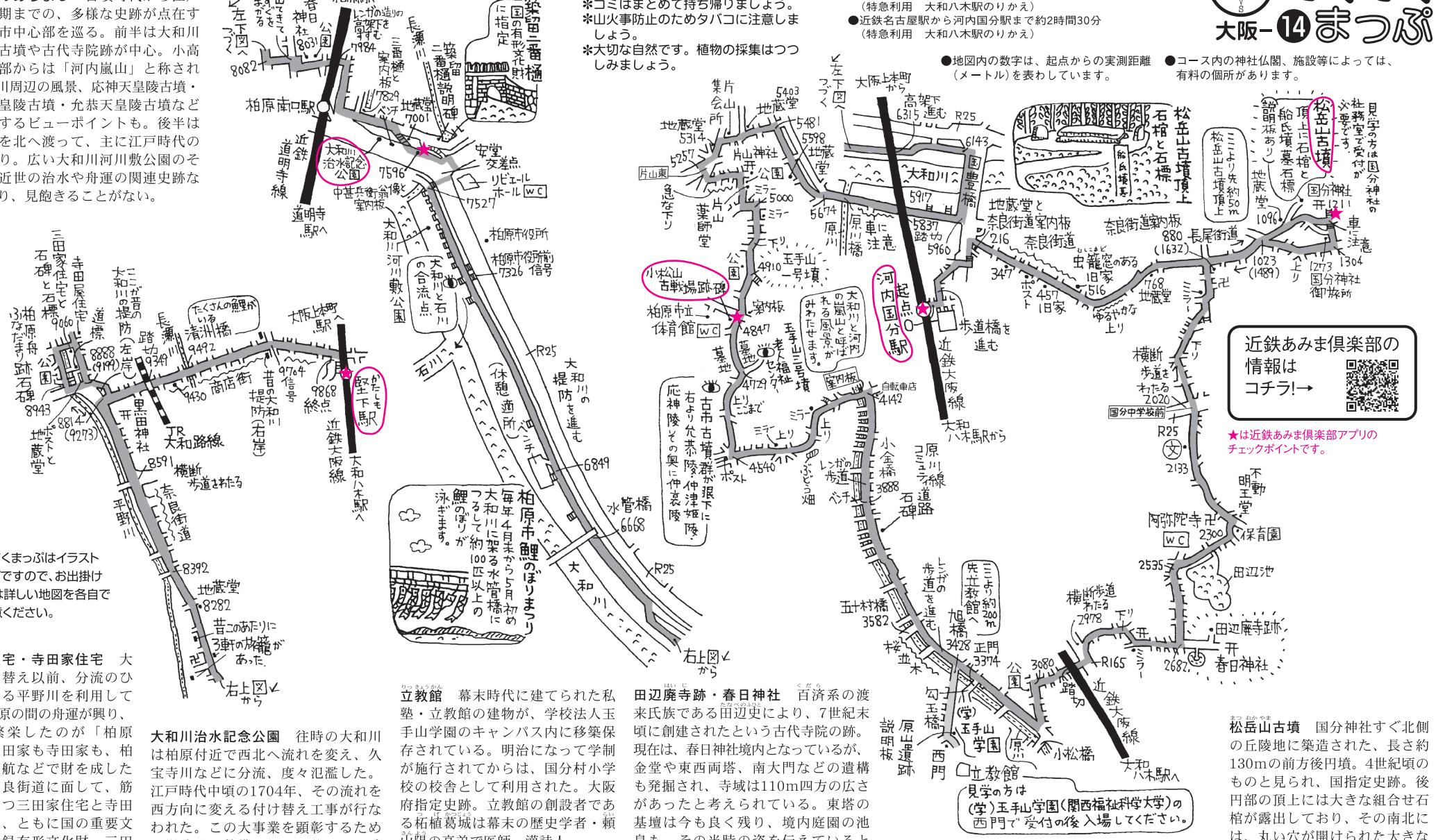
●近鉄大阪上本町駅から河内国分駅まで約20分（急行利用）
●近鉄京都駅から河内国分駅まで約1時間25分
（特急利用　大和八木駅のりかえ）
●近鉄名古屋駅から河内国分駅まで約2時間30分
（特急利用　大和八木駅のりかえ）

●地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。

コースのあらまし　古墳時代から江戸時代末期までの、多様な史跡が点在する柏原市中心部を巡る。前半は大和川以南の古墳や古代寺院跡が中心。小高い丘陵部からは「河内嵐山」と称された大和川周辺の風景、応神天皇陵古墳・仲哀天皇陵古墳・允恭天皇陵古墳などを一望するビューポイントも。後半は大和川を北へ渡って、主に江戸時代の旧跡巡り。広い大和川河川敷公園のそばに、近世の治水や舟運の関連史跡などが残り、見飽きることがない。

ハイキングのエチケット
※ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
※山火事防止のためタバコに注意しましょう。
※大切な自然です。植物の採集はつつしみましょう。



●てくてくまっぷはイラストマップですので、お出掛けの際は詳しい地図を各自でご用意ください。

三田家住宅・寺田家住宅　大和川の付替え以前、分流のひとつである平野川を利用して大坂と柏原の間の舟運が興り、大いに繁栄したのが「柏原舟」。三田家も寺田家も、柏原舟の運航などで財を成した豪商。奈良街道に面して、筋向いで建つ三田家住宅と寺田家住宅は、ともに国の重要文化財と登録有形文化財。三田家住宅西側を流れる平野川には、その舟溜まり跡が小公園に。

大和川治水記念公園　往時の大和川は柏原付近で西北へ流れを変え、久宝寺川などに分流、度々氾濫した。江戸時代中頃の1704年、その流れを西方向に変える付け替え工事が行なわれた。この大事業を顕彰するために堤防上に整備された小公園で、功労者の中甚兵衛の像などが建つ。旧流域へ取水するためのレンガ製の樋「築留二番樋」が堤防下に残り、文化庁登録有形文化財。

立教館　幕末時代に建てられた私塾・立教館の建物が、学校法人玉手山学園のキャンパス内に移築保存されている。明治になって学制が施行されてからは、国分村小学校の校舎として利用された。大阪府指定史跡。立教館の創設者である柘植葛城は幕末の歴史学者・頼山陽の高弟で医師、漢詩人。

田辺廃寺跡・春日神社　百済系の渡来氏族である田辺史により、7世紀末頃に創建されたという古代寺院の跡。現在は、春日神社境内となっているが、金堂や東西両塔、南大門などの遺構も発掘され、寺域は110m四方の広さがあったと考えられている。東塔の基壇は今も良く残り、境内庭園の池泉も、その当時の姿を伝えているという。国の指定史跡。

松岳山古墳　国分神社すぐ北側の丘陵地に築造された、長さ約130mの前方後円墳。4世紀頃のものと見られ、国指定史跡。後円部の頂上には大きな組合せ石棺が露出しており、その南北には、丸い穴が開けられた大きな板状の石が立つ。石室構造物の一部とも見られるが、真相は不明。周辺からは、7世紀頃の一帯の有力者・船史王後首の墓誌も出土し、こちらも国宝指定。

●約10キロ〔河内国分駅～松岳山古墳～田辺廃寺跡～大和川治水記念公園～三田家住宅・寺田家住宅～堅下駅〕

古代から近世 柏原史跡巡りコース

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

このコース地図は2021年9月調査に基づいて作成しています。
風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪ハイキング係
☎(06)6775-3566

企画・発行＝近畿日本鉄道(株)
制作・印刷＝(株)アド近鉄
イラストマップ＝宮野耕治
※無断転写禁ず。

近鉄